

茨城県陶芸美術館 サポート賛助会員 入会のご案内



茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

陶芸美術館サポーター制度のご紹介と 「サポート賛助会員」のご案内

茨城県陶芸美術館は、県内陶芸の芸術性の一層の向上や地域振興への貢献を目指して、2000年4月15日に開館し、2025年4月には開館25周年を迎えました。

開館後ほどなく、長年にわたる予算削減や行政改革に伴う人員体制の縮小などにより、美術館の運営を限られた資源の中で行ってまいりました。一方近年、美術館に期待される役割は多様化、高度化しております。

このような状況に対応し、より魅力的な運営を行うため、経済・産業・文化などの分野で貢献されている企業・団体・地域の皆様方にご支援をたまりたく「陶芸美術館サポーター制度」を創設いたしました。

2つの支援スタイル

本制度では、幅広いご支援をいただけるよう支援方法や関わり方に応じて、次の2つの支援スタイルを設けました。

- ・**運営サポーター**：継続的な支援とともに、支援金の活用及び事業内容等の協議にも参加いただくなど、制度への主体的な関わりを通じてご協力いただきます。
- ・**サポート賛助会員**：美術館の活動を会費（ご寄付）または役務（広報等の役務のご提供）によりご支援をお願いする、1年単位の会員制度です。本パンフレットでは、この「サポート賛助会員」制度の詳細をご案内いたします。

信頼と透明性を支える「サポート協議会」

皆さまからお寄せいただいた支援金は、運営サポーターと美術館で構成する「サポート協議会」において、用途を慎重に審議したうえで、次のような目的に活用してまいります。

- | | |
|------------|-------------------|
| (1) 展覧会の開催 | (2) 近現代陶芸に関する調査研究 |
| (3) 美術普及活動 | (4) その他目的達成に必要な事業 |

透明性と効果性を重視し、信頼に応える美術館運営を目指してまいります。

ご入会のお願い

本制度をととして、美術館の理念や取組みに共感してくださる皆さまとの新たなつながりが生まれることを願っております。ぜひ「サポート賛助会員」として、多くの皆さまにご入会いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

陶芸美術館サポーター制度

幅広いご支援をいただけるよう2つの支援スタイルを設けました。

陶芸美術館サポーター

【運営サポーター】

【サポート賛助会員】



(支援金の活用等)

【サポート協議会】

- ・運営サポーターと陶芸美術館で組織する協議会を設置
- ・支援金の活用及び支援する事業内容等について審議

陶芸美術館サポート賛助会員

当館の諸活動について、**会費（ご寄付）**または**役務（広報等の役務の提供）**によりご支援をお願いする1年単位の会員制度です。
1年単位での継続が可能です。

- 申込受付は随時で、1口5万円となります。
- 入会日は、ご支援金払い込みの確認を終えた日とし、入会者に対してサポート賛助会員証を交付いたします。
- 団体様及び個人様ともに、当該寄付について、税の優遇措置を受けることができます。

☆ 特 典 ☆

- 企画展招待券（一口につき10枚）
- 会員期間中の企画展図録をお届け
- 企画展オープニングセレモニー及び内覧会へのご招待
- 館の所定の場所への会員名の表示（ご希望により）
- 美術館ホームページへの会員名の掲載（ご希望により）

お申込み等手続き

① お申込み[寄付者→当館]

「サポート賛助会員入会申込書」をご記入の上、当館あてにメール、郵送またはFAXにてご提出願います。

② 納入通知書送付[当館→寄付者]

当館発行の「納入通知書」をお送りいたします。
記載内容、金額のご確認をお願いいたします。

③ 会費(支援金)お支払い[寄付者]

②を金融機関窓口にお持ちいただき、お支払いをお願いいたします。

お問い合わせ先

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地

茨城県陶芸美術館(企画管理課)

TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012

Email:info@tougei.ibk.ed.jp